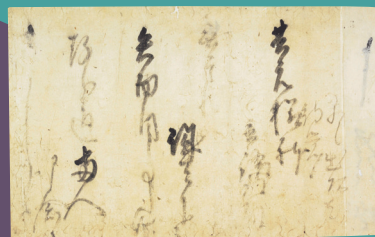




企画展〈アーカイブズ展〉

史料を集め、 伝え、そして編む



掲載史料はいずれも東京大学史料編纂所所蔵（裏面参照）

企画展〈アーカイブズ展〉史料を集め、伝え、そして編む

会場：茨城県立歴史館

2026年2月7日(土) → 3月22日(日)

休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日）

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

●入館料金：一般 390 円（20 名以上の団体は 330 円）

満 70 歳以上 200 円（団体 170 円）入館無料：高校生以下

●主催：茨城県立歴史館・東京大学史料編纂所

●URL：<https://rekishikan-ibk.jp>

●関連イベント

【連続講演】「史料を集めてつなげる—実隆公記・言継卿記を手がかりに—」

2月11日（水） 末柄 豊（東京大学史料編纂所・史料学協創センター長・教授）

「常陸が天下をゆるがし信長をうごかす—絹衣相論と史料編纂所所蔵史料—」

2月22日（日） 金子 拓（東京大学史料編纂所・中世史料部門・教授）

『倭寇図巻』を読む

3月7日（土） 須田 牧子（東京大学史料編纂所・中世史料部門・准教授）

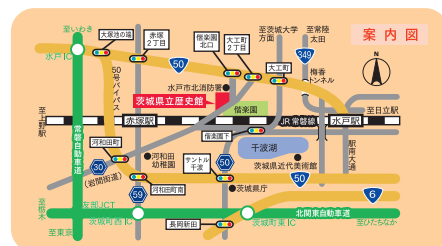
いずれも 14:00～15:30 先着 150 名 [事前申込制、要入館券]

同時開催（新収蔵品展）

「集まれ!! 歴史館のかくれた仲間たち」



東京大学史料編纂所
HISTORIOGRAPHICAL INSTITUTE
The University of Tokyo



茨城県立歴史館

IBARAKI PREFECTURAL ARCHIVES AND HISTORY MUSEUM
〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15 Tel.029-225-4425 <https://rekishikan-ibk.jp>

企画展〈アーカイブズ展〉「史料を集め、伝え、そして編むー東京大学史料編纂所の過去と現在ー」

出陳予定史料(一部)

第1章 史料編纂所所蔵重要史料(仮)

★	尾張国郡司百姓等解文 中院一品記 6 徳大寺公清公記 倭寇図巻 海東諸国紀 武田晴信誓詞 古文書(芦名盛氏書状以下十八通) 上杉謙信書状 栗林文書 織田信長自筆書状 益田家文書 豊臣秀吉自筆書状 益田家文書 徳川家康覚書 益田家文書	7月5日 (元亀2年)5月2日 10月20日 7月15日	S0071-50 S0073-13-6 S0073-3 S0080-2 S貴23-2 貴14-6 0371-3-17 S益田家文書-0-番外2-2 S益田家文書-0-番外2-3 S益田家文書-0-番外2-1
★	上井覚兼日記:伊勢守日記 13・25		S島津家文書-85-2-13
☆	豊臣秀吉掟書・刀狩令 たはらかさね耕作絵巻 ロシア使節レザノフ来航絵巻 ペリー渡来絵図貼交屏風	天正16年7月日	S島津家文書-2-16-10 S0080-1 S0051-1-1~2 S貴別架-2
☆	江戸大地震之図 米国水師提督ペリー自署書翰		S島津家文書-81-4-49 S貴27-1

第2章 史料編纂所所蔵史料と茨城(仮)

☆	東鑑(島津本) 1・9 江戸重通書状 青蓮院文書 真壁道無書状 戸村文書 真壁家幹書状 戸村文書 佐竹義久書状	(天正4年)4月19日 (天正ヵ)5月12日 (天正ヵ)7月25日 (天正17年)7月10日	島津家文書-53-1-2 貴04-2 0471-62-1 0471-62-8 貴01-40
★	実隆公記 81・135		S0673-6
★	言継卿記 29・31		S貴42-1-29

第3章 史料学協創センターと新しい史料学(仮)

	織田信長朱印状 慶元諸大名直判集 那賀郡山方村高館古城 那珂郡山方村亀城	(元亀2)正月2日	貴02-7 貴31-1 内務省引継地図-0202-02 内務省引継地図-0202-03
--	---	-----------	--

史料編纂所から出陳予定の史料のうち一部を掲げた。☆は国宝、★は重要文化財。章構成は仮である。

【会期中のイベント案内】

○関連講座

2026年2月15日(日) はじめての古文書体験講座 畑山周平(東京大学史料編纂所・中世史料部門・助教)

○その他講演

2026年2月8日(日) 沼澤佳子(茨城県立歴史館・歴史資料課・研究員)

日曜歴史館『礪川役用日記』にみる水戸藩附家老中山家

2026年3月1日(日) 飛田英世(茨城県立歴史館・学芸課・資料調査専門員)

日曜歴史館『源氏物語』と常陸

表面の図版は、右上から時計回りに、「織田信長自筆書状(益田家文書)」、「たはらかさね耕作絵巻」、「倭寇図巻」、「豊臣秀吉掟書・刀狩令」、「大掾清幹書状」、「東鑑(島津本)」である。

東京大学史料編纂所では、2025年度から新たに「史料学協創センター」を設置しました。史料が帯びている膨大な諸情報を可視化してゆくとともに、史料集編纂事業を通じて得た歴史知識情報と融合させることで、あらたな史料学の確立を目指しています。異分野融合や多機関連携も積極的に進めて史料学のDX化を図り、協創的な総合知を生み出してゆきたいと考えています。